

2021年11月12日

各位

大日本住友製薬株式会社

## LGBTQに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」で2年連続「ゴールド」を受賞

大日本住友製薬株式会社は、このたび、職場におけるLGBTQ(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエア/クエスチョニングなどの性的マイノリティ)に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2021」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しましたので、お知らせします。当社は2020年から2年連続で「ゴールド」を受賞しています。

「PRIDE 指標」は2016年に日本初の職場におけるLGBTQへの取り組みの評価指標として、任意団体「work with Pride」が策定しました。本指標はLGBTQの人々が誇りをもって働ける職場の実現を目指して「PRIDE 指標」という名称で、以下の5つの評価指標によって評価します。

1. Policy (行動宣言)
2. Representation (当事者コミュニティ)
3. Inspiration (啓発活動)
4. Development (人事制度・プログラム)
5. Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)

当社は、行動宣言に、性的指向、性自認に関する差別的言動を行わないことを明記しています。特に近年は、役職者を含む全従業員を対象に、LGBTQへの正しい知識の習得とLGBTQへの理解促進を目的とした研修やセミナーを開催しています。また、多様なセクシュアリティに関する相談窓口を設置するほか、大阪本社には、LGBTQ対応のトイレも設置しています。

当社は、今後も、ダイバーシティ&インクルージョンに関する取り組みのひとつとして、LGBTQに対する従業員の理解を深める取り組みや対話を通して、多様な人材が活躍しすべての従業員が能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めていきます。



以上